

武雄市文化のまちづくりデザイン会議 会議録

| | | |
|---|-------------------------------------|--|
| <p>日時</p> <p>令和4年1月12日(水) 14:00 ~ 15:30</p> | <p>場所</p> <p>武雄市文化会館 大集会室 A</p> | <p>出席</p> <p><input type="checkbox"/> 委員(山口夕妃子会長、七田忠昭副会長、黒沢伸顧問(リモート)、井上俊正氏、田中友子氏、松尾陽輔氏、川副義敦氏、中野博之氏、井上祐次氏、光武英樹氏、永松直子氏、鳥谷憲樹氏、山口祐香氏、諸岡智恵氏)</p> <p><input type="checkbox"/> 松尾教育長</p> <p><input type="checkbox"/> カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社 笠井氏、山本氏</p> <p><input type="checkbox"/> 事務局 こども教育部文化課新文化会館整備準備室</p> |
| <p>1. 協議件名</p> | | <p>第7回 武雄市文化のまちづくりデザイン会議 (テーマ: 構想タイトルと本文修正案・概要版について)</p> |

議事録

| | |
|--|---|
| | <p>1.開会(進行:山北文化課長)</p> <p>2. 議事 構想タイトルと本文修正案・概要版について</p> <p>①構想タイトルについて(事務局)</p> <p>○前回の会議で構想タイトルについて5案を提示し、ご意見を書いてもらった。 この集計の結果、この構想のタイトルとして「まちの進化論」での提案。 「まちの進化論」には、文化の木を育てる新たなまちづくりを具体的にイメージできるよう、進化の意味だけでなく、カタカナで「シン」化と表現することで7つの様々な意味を込めている。 ⇒委員の皆様から承認をいただく。</p> <p>②構想本文修正案・概要版について(事務局)</p> <p>○前回の会議で構想本文について章ごとに概略の説明を行い、たくさんのご意見をいただいたところ。 ・第6回会議を踏まえての主な修正箇所や追加の箇所について章ごとに説明を行う。</p> <p>目次 ・表紙説明「文化の木」を追記。構想のシンボルとしたい。</p> <p>第2章 ・グラフデータの並び替え(%が高い方から) ・文化をとりまくまちの課題の追記。第5章の拠点施設につなげている。</p> <p>第3章 ・タイトル説明を追記(まちの進化論について) ・新たなまちづくりの目標を追記</p> <p>第4章 ・事業名と取り組み内容についての修正 これまで12の事業について30の内容をあげていたが、各事業について大きなイメージでの記載に修正。それぞれについて説明を行う。</p> <p>第5章 ・拠点施設としての記述を修正 関係資料 ・デザイン会議名簿と会議日程を追記</p> <p>《ご意見》</p> <p>・第3章の新しいまちづくりの目標の設定で、現状で満足度の数値を持ち合わせているのか、2つの目標について高い設定だと思っている。</p> <p>・第6章の取り組みの推進については推進していくうえで重要な部分。市だけでなく各団体と協力してやっていくことが重要である。</p> <p>・第4章の施策については、これまで議論を行って目的等が、今回修正を行ったことで網羅できて</p> |
|--|---|

いるのか。例えば、施策4の伝わる情報発信と共有では、構想の大きな目的である若い人の情報発信や若い人たちにもっと関心をもってもらうイメージだったが、事業目標についても変わっている。

- ・この構想は行政としての方針、意気込みを書いているが、市民としては一方的に見えるのでは。第6章がよいと思うが、「市民の理解を求め、市民の積極的な参画、協力、関わりを促すような文言を入れたほうが良いのでは。
- ・施策2について、議論とあったと思うが「カフェ、店舗など民間の場を使う」という文言を入れては。文化のまちづくりのプレイヤーの一人として実感しやすくするためにも、民間の事業者が自分事と感ずる一言を入れてもらえるとありがたい。
- ・この構想が完成した後 WEB でも見れるようになると思うが、PDF だと読みにくい。わからないワードに飛べるとか、読む人の負担を減らす工夫、機能が必要ではないか。
- ・文化を育てる人づくりについてはプロのアーティストのかかわり方が重要なのでは。プロに関わってもらった方がよいのでは。
- ・文化会館ができたときに「本物を見たい」という気持ちがあった。文化に参加することは難しくても、本物を見て豊かな気持ちになるということが大事だと感じる。
- ・情報発信について「市民」の主体性を出してあげるようなやりかたが、伝わっていないと感じる。せっかく熱く語った気持ちの部分の載せてもらえれば。メッセージ性が薄まっているのでもう少し入れてもいいのでは。
- ・全体的に見ていくと、第5、6章がちょっと弱いと感じる。第5章の核となる施設として、これから議論、検討をスタートさせる感がでるといいと感じる。

○概要版について

- ・前回2案を提案させていただいたものについて修正を行った。
- ・より見やすく作り直している。表紙にタイトルをつけ、絵も書き換えを行い、文化の木でつくる未来についてもどういった事業に取り組んでいくかキーワードで見えるようにしている。

《ご意見》

- ・シビックプライドという言葉は一般的ではないのでは。

○構想の特徴について

- ・3つの特徴をあげ、この3つでまちが進化し、タイトルの「まちの進化論」につながると説明

○山口会長

- ・これまで7回の会議だったが、回数や時間も増え審議を繰り返してきた。皆様のご意見をいただきながらこまできた。本日いただいたご意見は修正を行い、これまで議論してきたことを網羅できれば。答申までもう少し日程があるのでご意見あれば事務局までいただきたい。構想本文、概要版、タイトルについて承認いただいたものとして今後進めていきたい。
⇒構想本文、概要版について承認をいただく。

○松尾教育長

・5月25日からスタートし7回の会議を行った。本日最終段階だったがたくさんのご意見をいただいた。いただいたご意見について修正を行い、準備を行っていきたい。これから文化のまちづくりがスタートする。10年間の構想期間となっているが、5年間で中間見直しを行いながら、進めていきたい。委員の皆様にお礼申し上げます。今後ともアドバイス、ご意見をいただきたい。

3. 連絡

- ・市長への答申を1月21日(金)11時～ 文化会館 会議室(大楠)で予定。
- ・その後パブリックコメントを1月26日ごろから30日間を予定。

部長
理事

課長
参事

係長

係員